

予防接種時期表(標準的なもの)

ワクチンの種類	接 種 月 齢																									
	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	15か月	18か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上		
不活化 ヒブ (インフルエンザ菌b型)			①	②	③								④													
不活化 小児用肺炎球菌			①	②	③								④													
不活化 B型肝炎			①	②						③																
不活化 四種混合 (DPT-IPV)			①	②	③									④												
生 BCG								①																		
生 MR (麻疹風しん混合)													①								②					
生 水痘 (みずぼうそう)													①		②											
不活化 日本脳炎																		①	②	③			④			
不活化 二種混合 (DT)																							①			
不活化 子宮頸がん 予防ワクチン (HPV)																								①	②	③

(ヒブ・小児用肺炎球菌)
こちらの接種例は、生後2か月以上7か月未満で接種を始めた場合の一例です
7か月以上から接種を開始した場合は、接種回数が変わりますのでご注意ください

27日以上の間隔をおいて2回接種
3回目は1回目の接種から139日以上の間隔をおいて1回接種
標準的な接種期間は生後2か月に至った時から

20日以上の間隔をあけて、初回の3回を接種
3回目の接種から6か月以上の間隔をあけて(標準として3回目接種後12~18か月の間に)追加接種をおこなう

小学校就学前1年間(幼稚園・保育園の年長に相当)の期間内に接種

9歳~13歳未満

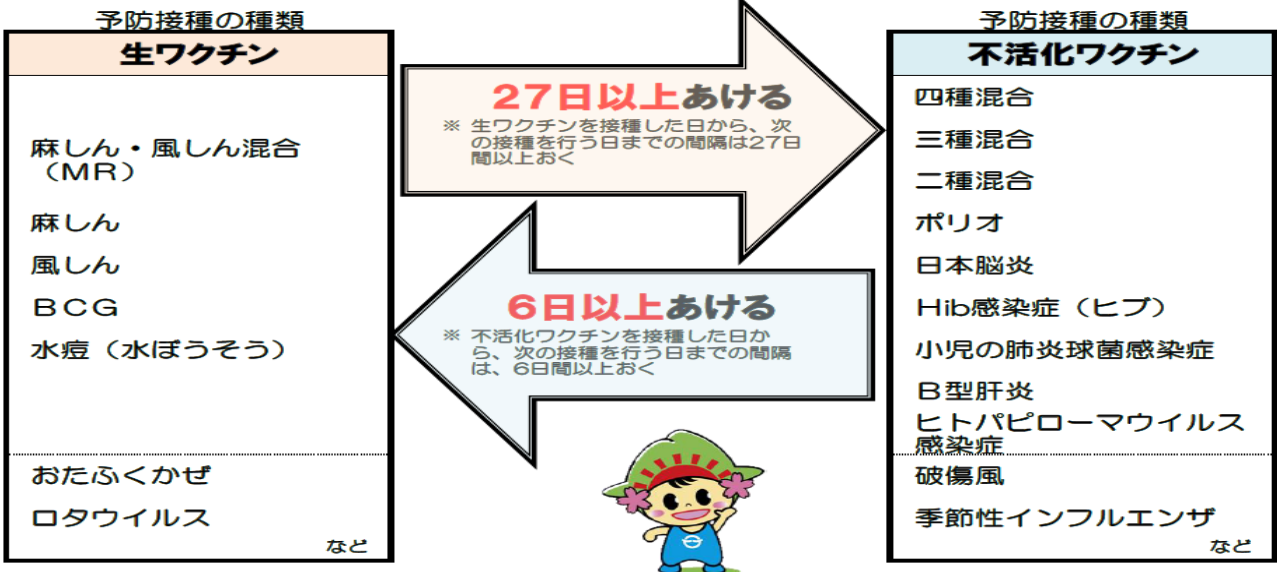
11歳~13歳未満

小学6年~高校1年
相当の間に3回接種

定期予防接種の対象年齢 ←→ 推奨接種時期 ① 個別接種 ② 集団接種

- 生ワクチンは接種後27日、不活化ワクチンは接種後6日あければ、他の種類のワクチンが接種できます。
- こちらのスケジュールは一例です。予防接種は接種を開始した年齢によって接種回数が変わるものもあります。接種の際は医師と相談のうえ、保護者の責任のもと行ってください。
- 定期接種の対象年齢でない場合や、接種間隔があいていない場合の接種は、任意の予防接種となります。任意接種の費用は医療機関ごとで異なり、自己負担となります。
- 子宮頸がんワクチンについては、現在積極的勧奨は差し控えています。

予防接種間隔について



日の出町イメージキャラクター「ひのでちゃん」